

第2回 研究交流会

日時 2009年11月28日(土) 13:30～17:30
(18:00～懇親会)

会場 神奈川大学 23号館 305教室

テーマ 資料保存の現場

昨年の第1回研究交流会は、「現場から歴史民俗資料学を考える」というテーマで開催し、多くの方にご参加をいただきました。今回は、資料保存業務に携わる歴民修了生から、現場ではどのような活動を行い何が問題となっているのか、実践を踏まえて報告していただきます。

【プログラム】

13:30～ 開会・趣旨説明

参加自由

13:40～14:20 報告① 「公文書館制度定着のハードル」
藤 隆宏 氏 (和歌山県職員、元和歌山県文書館員)

14:20～15:00 報告② 「博物館は何を収集するのか、できるのか」
磯本 宏紀 氏 (徳島県立博物館学芸員)

15:10～15:50 報告③ 「紙文化財修理の現状」
山口 悟史 氏 (東京大学史料編纂所史料保存技術室)

15:50～16:30 報告④ 「出版業界の現場から」
佐藤 健太 氏 (フリー編集者)

※報告タイトルはすべて仮題です。

16:40～17:25 総合討議

17:30 閉会 18:00～懇親会 会場 LUXホール (参加費 3,000円)

■参加申し込み

※参加は自由です。現役の院生のみなさんも、ぜひお気軽にご参加ください。懇親会への参加も大歓迎です (参加される場合は、人数把握のため事前にお知らせいただくと幸いです)。

※歴民修了生 (聴講生・研究生なども含む)、在学生、教員 (退職者も含む)、その他、歴民関係者を対象とする交流会ですが、テーマに関心のある一般の方もご参加いただけます。

※当日は資料代・通信費 500円を徴収させていただきます (在籍生は無料)。ご了承ください。

※参加者の皆様が関係する機関や研究会その他の案内パンフレットやチラシなどをお持ちいただければ、当日配布いたします。

※お問い合わせは、研究交流会幹事会のメール・FAX、もしくは内山 (D3)・大坪 (D3)・齊藤 (D3)・萩谷 (D3) までご連絡ください。

研究交流会幹事会 E-mail アドレス : kenkou19930319@gmail.com

F A X : 045 - 481 - 2734

研究交流会幹事会